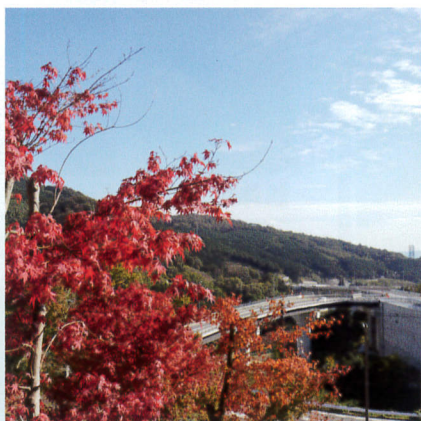


—— 出会いの場としてのダムを目指して ——

あ い がわ

安威川ダム



安威川ダムは

淀川水系安威川の大阪府茨木市北部に建設する治水ダムです。洪水調節、流水の正常な機能の維持、下流河川の環境改善を行います。

事業経緯

昭和42年	北摂豪雨災害(これを契機にダム構想立案)
昭和51年	実施計画調査段階(国庫補助により調査に着手)
昭和63年	建設段階(国庫補助によりダム建設等の工事に着手)
平成 5年 8月	付替道路工事に着手
平成 7年 3月~	水没各地区と「基本協定」の締結
平成11年 3月	補償基準協定書の調印 ⇒本格的な水没地等の用地取得に着手
平成17年 8月	大阪府の水源計画変更 ⇒安威川ダム利水機能を7→1万m ³ /日に縮小
平成19年 6月	水没家屋等の代替地への移転を完了
平成21年 8月	水需要予測の見直しにより、安威川ダムから利水事業が撤退
平成22年 9月	付替府道 茨木亀岡線の全区間(L=5.4km)供用開始 国よりダム事業の検証の要請
平成24年 6月	ダム事業の検証完了、国の対応方針決定 《安威川ダムの事業継続》
12月	転流工工事を発注
平成26年 3月	ダム本体工事を発注
6月	ダム事業の認定が告示
令和 4年 9月	ダム試験湛水開始

安威川は

大阪府の北摂地域に位置し、その源を京都府亀岡市の竜ヶ尾山に発し、高槻市、茨木市、摂津市、吹田市、大阪市を流下し、神崎川に合流する流域面積約163km²、河川延長約32kmの北摂最大の河川です。

安威川流域のうち、約70km²は山地で、残り約90km²は丘陵地もしくは低平地です。昭和42年には北摂豪雨災害、近年では昭和58年、平成11年にも水害が起こっています。

特に中下流部の洪水氾濫防止区域には、市街地や大阪中央環状線、近畿自動車道、東海道新幹線、東海道本線、阪急京都線などがあります。

安威川ダムの位置



自然環境保全対策

安威川ダム周辺には、約4,500種以上の動植物が確認されています。また、人と自然の様々な関わりの中から育まれてきた里山や棚田といった多様な環境があります。

大阪府は、ダム建設による環境への影響を可能な限り小さくするため、「安威川ダム自然環境保全マスタープラン」に基づき動植物、水質・流量観測の調査と環境保全対策に取り組んでいます。

基本目標

ダム事業者による
ダム湖周辺を
中心とした環境保全

基本目標 1: 動植物の生息環境の保全

水がつなぐ
「自然・人・文化」
を育む
安威川ダム

基本目標 2: 新たに出現する水環境の保全・創出

基本目標 3: 地域との連携

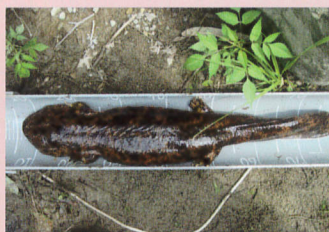
様々な主体の参画と
流域全体を視野に
入れた長期的な取組み

基本目標 4: 自然環境の豊かな流域の育成

また、安威川ダム建設地周辺の豊かな自然を守るため、ダムの建設や管理に携わる際の指針として「安威川ダム自然環境保全対策実行計画(案)」を作成しています。自然環境に配慮し、施工範囲・時期、工法等を検討します。

具体例

工事区域内に発見された貴重な動植物は一時保護や別の場所への移植などを行います。



オオサンショウウオ



コムラサキ

フラッシュ放流

ダムは大きな出水を減らしますが、同時に日頃生じる小さな出水も減らしてしまうため、下流河川的环境が変わってしまう懸念があります。

そのため、安威川ダムでは計画段階から環境改善容量(94万m³)を位置づけ、ダムに貯めた水を一時的に流す「フラッシュ放流」を行うこととしています。これにより人工的に小規模出水を起こして川底をかく乱させ、ダムより下の河川の生き物の活性化を図ります。



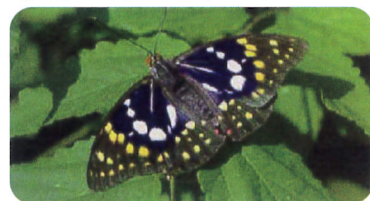
※写真はイメージです

アジメドジョウ



大阪府では安威川だけで確認。生息調査を行っています。

オオムラサキ



幼虫が食草とするエノキの伐採を工事範囲の見直しにより回避しました。

オオサンショウウオ



個体の緊急保護や人工巣穴の設置を行っています。

オオタカ



生態調査、工事中の監視を行っています。

オグルマ



個体の移植を行っています。

フクロウ



巣箱を設置し、工事区域外へ誘導しています。巣箱で産卵幼鳥を確認しました。

自然環境保全対策

安威川ダム周辺には、約4,500種以上の動植物が確認されています。また、人と自然の様々な関わりの中から育まれてきた里山や棚田といった多様な環境があります。

大阪府は、ダム建設による環境への影響を可能な限り小さくするため、「安威川ダム自然環境保全マスタープラン」に基づき動植物、水質・流量観測の調査と環境保全対策に取り組んでいます。

基本目標

ダム事業者による
ダム湖周辺を
中心とした環境保全

水がつなが
「自然・人・文化」
を育む
安威川ダム

様々な主体の参画と
流域全体を視野に
入れた長期的な取組み

基本目標 1: 動植物の生息環境の保全

基本目標 2: 新たに出現する水環境の保全・創出

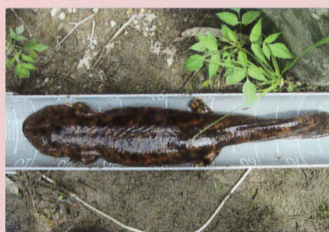
基本目標 3: 地域との連携

基本目標 4: 自然環境の豊かな流域の育成

また、安威川ダム建設地周辺の豊かな自然を守るため、ダムの建設や管理に携わる際の指針として「安威川ダム自然環境保全対策実行計画(案)」を作成しています。自然環境に配慮し、施工範囲・時期、工法等を検討します。

具体例

工事区域内に発見された貴重な動植物は一時保護や別の場所への移植などを行います。



オオサンショウウオ



コムラサキ

フラッシュ放流

ダムは大きな出水を減らしますが、同時に日頃生じる小さな出水も減らしてしまうため、下流河川的环境が変わってしまう懸念があります。

そのため、安威川ダムでは計画段階から環境改善容量(94万m³)を位置づけ、ダムに貯めた水を一時的に流す「フラッシュ放流」を行うこととしています。これにより人工的に小規模出水を起こして川底をかく乱させ、ダムより下の河川の生き物の活性化を図ります。



放流前



放流後

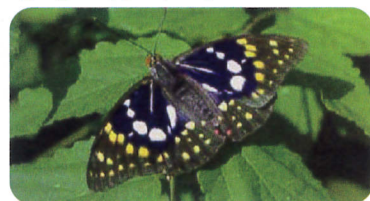
※写真はイメージです

アジメドジョウ



大阪府では安威川だけで確認。生息調査を行っています。

オオムラサキ



幼虫が食草とするエノキの伐採を工事範囲の見直しにより回避しました。

オオサンショウウオ



個体の緊急保護や人工巣穴の設置を行っています。

オオタカ



生態調査、工事中の監視を行っています。

オグルマ



個体の移植を行っています。

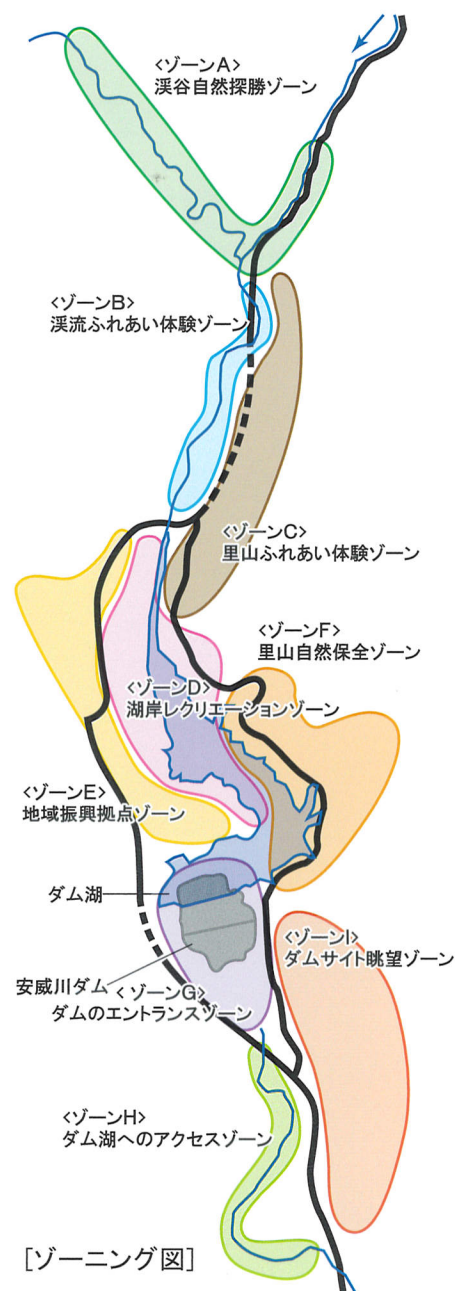
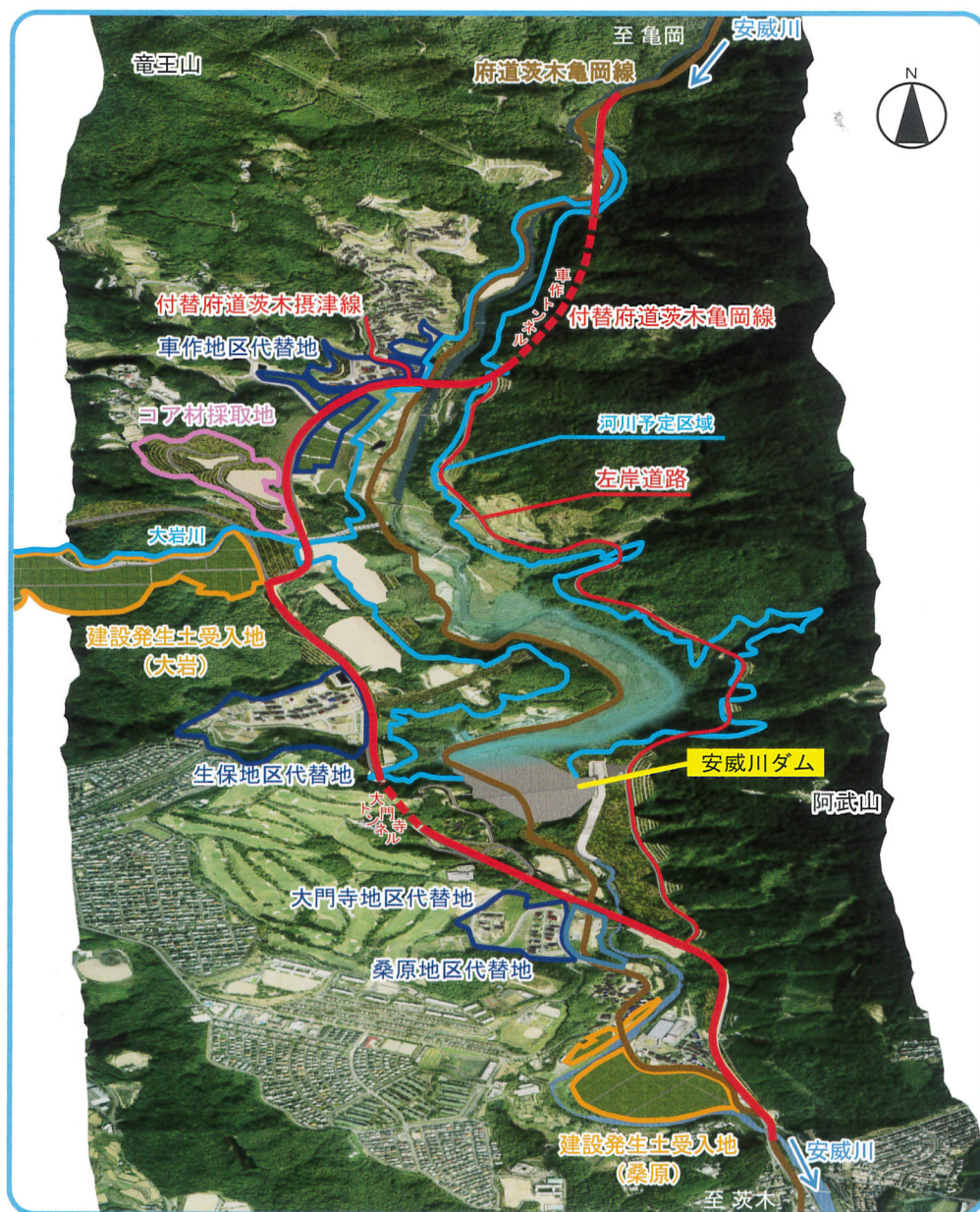
フクロウ



巣箱を設置し、工事区域外へ誘導しています。巣箱で産卵幼鳥を確認しました。

安威川ダム周辺の地域づくりの取組み

安威川ダム周辺整備基本方針

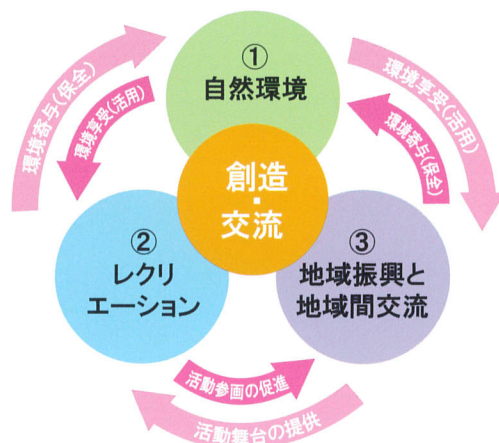


基本理念

『未来につなぐ美しい自然、創造と交流の湖畔の里』
“北摂の自然と人の織りなす美・自然と人の新たな調和”を目指して

【基本的な方針】

- 方針1 溪流と湖面に映える周辺景観の保全と再生・創出に努めます
- 方針2 ダム及びダム湖を拠点に地域資源を活かして北摂のシンボル空間を創出します
- 方針3 周辺環境の保全と地域資源の有効活用を適正に調和させます
- 方針4 周辺整備は公共と民間の協調・協同で進めます





安威川ダムファンづくり会

安威川ダムは、その役割以外に自然環境を提供したり、地域の様々な活動の舞台となったりと、治水以外の恩恵をダム周辺や市街地にもたらしてくれる可能性があります。その可能性を引き出し、多くの人々に活用されるダムとしていくために、「安威川ダムファンづくり会」を発足させました。

ファンづくり会とは

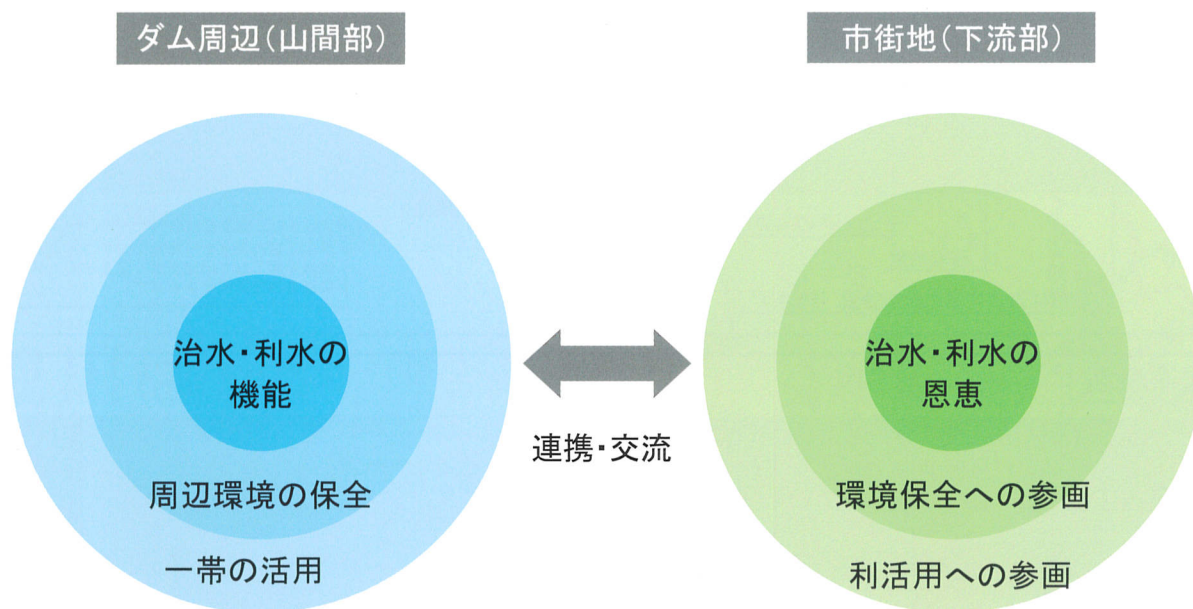
ファンづくり会の目的は、ダムやその周辺地域を愛するファンを増やすことです。

そのためには、眺めて美しい、訪れて気持ちが良い、近くに住みたい・住み続けたいと思える環境をつくることと、その環境の中でたくさんの人が楽しんだり、くつろいだりできることが大切です。誰もが関わりたいと感じる状況をつくる。そのための仕組みづくりがファンづくり会の仕事です。

ファンづくり会のコンセプト

2つのエリアの連携と交流

山間部と市街地が連携しながら、ダム周辺の活用と保全を推進していく必要があります。



ダム周辺の保全活動促進

山間部では、里山活動をはじめとしたダム周辺の環境保全活動の展開をめざします。

都市部からダムへの活動展開

ダム周辺の活用と保全に係る教育・文化・アート系の活動育成をはかります。

AIGAWA.jp

検索



ファンづくり会情報サイト



安威川ダムファンづくり会

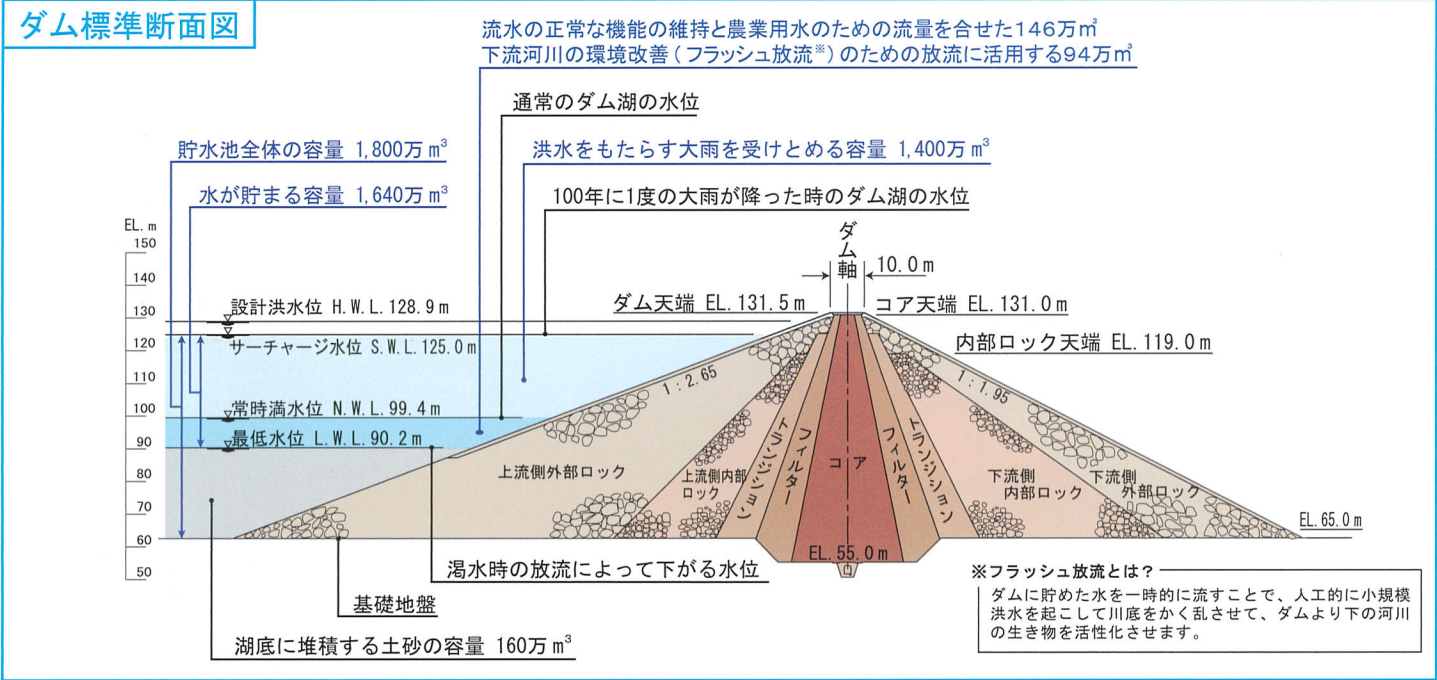
検索

安威川ダム facebook ページもぜひご覧ください。

ダムと貯水池の諸元

諸 元		備 考
ダム堤体	形 式	中央コア型ロックフィルダム
	高 さ	76.5 m
	長 さ	337.5 m
	天端幅	10.0 m
	体 積	222.5 万 m ³
貯水池	集水面積	52.2 km ²
	湛水面積（平常時）	34 ha
	湛水面積（大雨時）	81 ha
	総貯水容量	1,800 万 m ³
	有効貯水容量	1,640 万 m ³
	洪水調節容量	1,400 万 m ³
	不特定利水容量	240 万 m ³
	堆 砂 容 量	160 万 m ³
		土や岩石などで盛り立てるタイプ
		20 階建てのビルを超える高さ 太陽の塔を超える高さ
		ダム頂上部の長さ
		ダム頂上部の幅
		京セラドーム大阪の約 2 杯分
		ダム湖に水が流れ込む範囲
		平常時の湖面の広さ 京セラドーム大阪の約 25 個分
		大雨時の湖面の広さ 京セラドーム大阪の約 60 個分
		京セラドーム大阪の約 15 杯分
		水が貯まる容量
		洪水をもたらす大雨を受けとめる容量
		・ 流水の正常な機能の維持と農業用水のための流量を合せた146万 m ³
		・ 下流河川的环境改善のための放流に活用する94万 m ³
		湖底に堆積する土砂の容量

ダム標準断面図



ダム完成予想図



このパンフレットは500部印刷し、1部あたりの単価143円です。